

散歩道

今年の「日本海未来ウォーク」に「歩育コース」が加えられ、3歳前後の幼児

も参加できるようになったことはとてもよいことだと高く評価します。

人間の成長過程で3歳前後は、肉体的な体の成長とともに、知能や感性を育てるためにも最も重要な時期です。

この時期から親と一緒に自然に触れながら、参加した多くの人とのふれあいの中で、見たり聞いたり話したりする社会的な体験は、人間形成上貴重な経験となります。

私は若いころ、2歳7カ月の子どもを連れて大山に登ったことがあります。「2合目くらいまでは登れるかなあ」と思いながら出発し

親子で歩く「歩育コース」

ましたが、なんと頂上までの往復を自力で登りました。

「こんな小さい子がどうして登れるものか」と思うのは一般の大人の考えで、翌日、太ももが痛くて弱音を吐いたのは大人であって、子どもは平気で遊んでいました。子どもの筋肉は柔らかく、それだけ強いということです。

今、青葉若葉の最も美しいときで、ホトトギスの初鳴きも聞かれました。子どもは小さいときから野や山や川で遊ばせなければ、強い子に育ちません。自然がこんなに美しいとき、お父さん、お母さん、お兄ちゃん、お姉ちゃん、おばあちゃん、おじいちゃんとみんなで参加してほしいと思います。

荒井 明由(大山町赤松、87歳)